

### 1. Course Description

1・2年次に学修した解剖学を総復習し、国家試験に対応できる能力を身につけることを目標とします。

授業は、演習問題と解説講義にておこないます。

国家試験は1、2年次に使用した解剖学の教科書を中心に出题されます。国家試験過去問題など演習問題に取り組み、国家試験出題傾向を修得すると共に弱点を洗いだし学びます。教科書の内容を総復習し、確実に理解します。国家試験出題率の高い部分や弱点については、その場で学ぶなど、国家試験に向けできる限り漏れのない解剖学の総括を行います。また、授業時の質問に対してグループディスカッションを行い答えてもらいます。この授業ではDPIに関する知識を修得します。

### 2. Course Objectives

- ① 運動器の基本問題を解決することができる。
- ② 循環器の基本問題を解決することができる。
- ③ 内臓の基本問題を解決することができる。
- ④ 内分泌器の基本問題を解決することができる。
- ⑤ 神経系の基本問題を解決することができる。
- ⑥ 感覚器の基本問題を解決することができる。

### 3. Grading Policy

全範囲の定期試験(90%)に平常点(講義内確認テスト・レポート等)(10%)を加え、総合的に評価して最終成績とします。

### 4. Textbook and Reference

Textbook

岸清、石塚寛編 全国柔道整復学校協会監修教科書『解剖学』 2版 医歯薬出版株式会社

### 5. Requirements(Assignments)

予備学習として該当項目の教科書の復習を行ない、特に理解度の低い項目をチェックしておくようにして下さい。おおよそ予習に1.5時間、課題と問題解答の復習に1.5時間を見込んでいます。

### 6. Note

必ず手書きのノートを作成してください。

### 7. Schedule

- [1] 総論の復習と演習  
準備学修:教科書(p1~20)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [2] 神経系の復習と演習 1:中枢神経  
準備学修:教科書(p217~238)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [3] 神経系の復習と演習 2:末梢神経  
準備学修:教科書(p238~259)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [4] 感覚器の復習と演習  
準備学修:教科書(p261~274)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [5] 循環器の復習と演習 1:心臓と動脈  
準備学修:教科書(p123~145)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [6] 循環器の復習と演習 2:静脈、リンパ系  
準備学修:教科書(p145~156)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [7] 内臓の復習と演習 1:消化器(消化管)  
準備学修:教科書(p157~171)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [8] 内臓の復習と演習 2:消化器(消化腺)  
準備学修:教科書(p171~177)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [9] 内臓の復習と演習 3:呼吸器  
準備学修:教科書(p177~186)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [10] 内臓の復習と演習 4:泌尿器  
準備学修:教科書(p186~192)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [11] 内臓の復習と演習 4:生殖器  
準備学修:教科書(p192~205)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [12] 内分泌器の復習と演習  
準備学修:教科書(p207~215)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [13] 運動器の復習と演習 1:骨、関節  
準備学修:教科書(p21~70)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [14] 運動器の復習と演習 2:筋  
準備学修:教科書(p70~122)。詳細は「準備学修」の項目を参照してください。
- [15] テスト、まとめ  
準備学修:全項目のまとめを行い、疑問点を解決するように取り組んでください。